

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和7年6月号 No.217

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和7年度木材関連団体通常総会開催

名古屋木材組合の通常総会は令和7年5月28日(水)午後1時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員約50名の出席を得て開催された。

西垣組合長はあいさつの中で、(一社)全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会の「令和7年度施策の実行、令和8年度予算等に関する要望」の中で「防災庁の整備に合わせ、南海トラフ地震など今後の自然災害発生の際の建設仮設住宅を迅速かつ効果的に整備するため、国産材による木造仮設を推進し、その建築部材や木造住宅ユニットの備蓄を促進する対策を講ずること」にふれ、「木材組合としてもいろいろな災害に向け、木材製品の備蓄等について話し合いの場を作っていきたい」と述べた。



西垣洋一組合長

名古屋木材組合の議案

- 第1号議案 令和6年度事業報告について
- 第2号議案 令和6年度収支決算について
- 第3号議案 令和7年度事業計画について
- 第4号議案 令和7年度収支予算について
- 第5号議案 令和7年度組合費の賦課及び徴収方法について
- 第6号議案 記念部分林特別会計
 - ①令和6年度事業報告および収支決算の承認について
 - ②令和7年度事業計画及び収支予算の決定について
- 第7号議案 役員の補選について



永年勤続表彰

以上各議案については事務局の説明の通り承認された。

その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市経済局加藤産業企画課課長補佐）から祝辞が述べられ総会が終了した。

また、午後2時20分から同所にて(一社)愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続従業員表彰式が行われ、下記の方々が表彰された。

◎組合功労者知事表彰

該当なし

◎永年勤続優良従業員知事賞（敬称略）

(株)山西 竹見暢芳、(株)山西 岩田恭治（敬称略）

★新役員として次の方が選任された

新役員 理事 石川芳文（(株)イクタ）、片桐洋介（片桐銘木工業(株)）
桑原教行（桑原木材(株)）、友松 功（中央木材市売(株)）
嶺木一志（丸美産業(株)）（敬称略）

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを

みちしるべ

出光佐三氏 著書『日本人にかえれ』に思う！！ 先人、先哲から学ぶ - 木材業界人としての使命とは -

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

かつて日本は、他国から「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と称され、1990年前後、世界の羨望の的でした。それがいまや2024年のIMF統計による一人当たりGDPは39位、G7の中でも最下位。世界競争力ランキングは過去最低の38位という状態にあります。又、日本の世相を見ても、政治・経済・社会風潮においての不祥事が絶えません。日本人が持っていると言われてきた美德や廉恥心（恥を知る心）、伝統に培われた倫理観や道德心は消えてしまったかのようにさえ思います。

現在の世界情勢を見ると、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の混乱などの緊張が高まり、各国の政治状況も益々不安定化するなど、これまでの価値観が揺らぐ状況が続いています。又、大統領へ返り咲いたトランプ氏の米国第一主義は、自国の利益を追求する姿勢であり、関税や補助金を通じて米国内の産業集積を狙うと見られ、貿易・投資を通じた世界経済へのインパクトは大きいと言えます。追加関税は貿易動向だけでなく、生産拠点の再編など投資にも影響し、米国の保護主義的政策運営に対し、世界各国が対抗措置を講じる可能性もあり、貿易・投資にかかるコスト・不確実性は更に増しています。

世界の変化には目を見張るばかりで、現在の日本の立場としては、アジア圏においても厳しい状況に置かれています。日本は変化に対して驚くほど慎重で臆病に感じられると共に、国家としても自律・自立、独立自尊の精神が欠けているように思います。

出光佐三氏 著書『日本人にかえれ』はしがき文章抜粋

「戦後、四分の一世紀を過ぎ、日本は見事な復興をなしとげて、さらに“経済大国”とよばれるほどに成長しました。そして70年代が国際化の時代といわれるように、日本はいまや世界を相手に発言し、主体的に選択、行動しなければならぬ時代に入ったわけです。

この新しい時代を迎え、われわれはあらためて日本および日本人とはなにかという根本的な問いをみずから投げかけて、これからの日本のあるべき姿に深い思いをひそめなければならぬと思います。百年前、あの明治維新に、若き志士たちが日本の伝統を踏まえながら、広い視野と果敢な行動力をもって、近代日本の基礎を築きあげていったように、現代日本の青年もまた、今日の国際的な試練の場に立って、日本の将来を決定づける重大な責務をもってしているといえます。

『私は日本人として、日本人らしく、実行の道を歩いてきた。妥協を排し、誘惑に迷わず、

ただひたすらに日本人の道を歩いてきたにすぎない。』

これは、本書の著者、出光佐三が、八十七年の豊かな人生経験と、六十年にわたる事業経営をふりかえって吐露した言葉であり、信念です。」

人間尊重を原点とした企業経営を実践し続け、出光興産百年企業の礎を築いた出光佐三氏の生き方は、現代の我々にとって学ぶべきことは多くあります。出光氏は、これからの日本に対して、「必要なのはお互いに譲り合い、互いに助け合うという『互譲互助』、「お互い」という道德のあり方ではないのでしょうか。「お互い」ということで解決できないものはなにか一つありません。」と言います。

戦後、出光氏は世のため日本のためというこの一点で物事を考え抜き、行動されてきました。我々木材業界もまた日本のあるべき国の姿、業界のあり方、人としての生き方をよく考え、物事の本質を求め、互譲互助の精神を持って果敢にチャレンジしていかなければなりません。

再生可能な資源である木材の利用拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化の防止、地域経済の活性化（地域創生）を通じ、木造化・木質化を進め、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に広く貢献するものです。私達はそのことを自覚し、誇りと責任を持って、日本のため、社会のために、木材業界人としての使命を全うしていく必要があります。

◆ 合縁木縁 ◆

「自分自身のケガを振り返ってみて」

この度、ご指名を頂きました大日本木材防腐株式会社の高久と申します。

この件で前任者より3月中旬に指名頂いた際に、私事ではございますが2月下旬に骨折をしておりこの事を書こうと思っておりました。

状況としましては、私用で家族と遊んでいる際に左足膝外側を強く打撲をしてしまい、ほうっておいで治りそうにはなかったので、その足で病院に行きました。診断の結果、左足脛骨高原骨折と診断され、その場で股関節の直ぐ下からつま先までギブスで完全に固定されました。

そこからの生活が一変しました。一人で移動するのも困難で、会社にも出社できない状況となってしまい、絶望的になりました。

少しずつ時間経過とともにこの状況に対応して受け入れていくしかなく、家族や会社の人にご迷惑をお掛けしながら、段階的に社会復帰をしていきました。

ケガから4週間後にギブスを外しました。折れた箇所がくっ付いている訳ではないですが、これ以上の固定は他の箇所の可動に影響が出るとのことです。この4週間の固定により考えられないくらいの健全な箇所の筋肉の衰えや関節が可動しないことに驚きました。

そこからは、少しずつリハビリをしていき、通常の生活ができるようにもっていき、現状に至っております。

今回、今までに経験してこなかった事（車椅子を借りてのショッピングセンターでの買い物や松葉杖での生活、移動など）をしました。

今後、自分自身が老いていく中で、このような大変な生活をもう二度と経験したくないと思いました。その為の生活習慣や行動を改めて行きたいと思いました。

ちょっとしたアクシデントで誰にでも起きる可能性があることですので、皆様も普段から気をつけて生活して下さい。

皆様の健康を祈願させて頂きたく存じます。

次回は、王子木材緑化株式会社 名古屋支店 高橋幸弘氏にお願いします。

木場すずめ

『私とスペイン語』

私とスペイン語の出会いは35歳の頃に始まりました。

その頃、国際友好団体の役員をしていて、アメリカ合衆国が介入して反政府勢力（コントラ）との戦闘、大規模な地震と台風に見舞われた貧しい中米・ニカラグアの支援のため日本各地で物資や現金を集め現地に直接届けようということになり、東京、大阪、京都、長野、愛知からの代表団を結成したのですが、その1人として7月16日の独裁者を追放した日にコントラが出没するホンジュラスとの国境に近い町エステリで開かれた集会に参加しました。これには世界各国からも代表団が参加しており、にぎやかな雰囲気の中、革命軍の司令官だったダニエル・オルテガ大統領がヘリコプターで突然やってきて演説してジープで帰っていきました。

私は、スペイン語の演説もさっぱりわからないので日本から持ってきた折り紙で折鶴を作って周りの人たちにあげていましたが、そのうちの一人の可愛いニカラグア女性（ペリオデスタ新聞記者）が近づいてきて取材をうけ、東京外語大の学生が通訳してくれているうちに、首都のマンガアに戻って、もう一度会いましょう！ということになって、彼女（クリスチャン・サントスさん）は、我々のホテルに妹さん2人を連れてきてくれました。それから彼女らが案内してくれる「ディスコ」へ行き、彼女らのリードでサルサを踊ったり、ビールやラム酒を飲み、いろんな料理を食べて楽しい時間を過ごしました。それから私にクリスチャンから手紙やカードが来るようになり、それを理解するために中日文化センターへ通ったり、NHKのラジオ・スペイン語講座のテキストを買ったりという日々が続きました。

中日文化センターの講座も先生が一緒なら毎年同じなので生徒たちでスペイン語クラブを立ち上げ講師に来てもらおうということになり、スペイン語クラブ「ロス・ブーロス（のろまなロバたちの意）」を立ち上げそのメンバーになり以来30数年になります。

この間、就職した息子と二人で年末年始にスペインへ行きバルセロナ、セビリア、コルドバ、マドリーなどを回り大いに歩き、食べ、いろいろ見て回り、数年前はカミさんを連れて、メキシコのカンクン、ニカラグアのマンガアを訪ねました。マンガアではクリスチャンの世話で彼女の実家に泊めてもらいました（彼女はパナマで知り合ったオハイオに住む米国人と結婚していた）。ニカラグアでは今タクシーも危険だということで、レンタカーと運転手を手配してくれて、毎朝・夕にオハイオからスカイプで電話をかけてきて、今日の予定や何か行きたいところはないか？などいろいろ世話をやいてくれました。

私にとってひょんなことからスペイン語との縁ができたのですが、旅行、フラメンコ、サルサ、フォルクローレやマヤ・アステカ・インカなどの文化・歴史に触れることができる、すてきなツールとなりました。

第75回全名古屋木材産業野球大会閉幕

第75回全名古屋木材産業野球大会（名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催）は、5月18日（日）午前10時50分から決勝戦が山西とヤマガタヤの間で行われ、山西が勝利しました。

その結果、優勝 山西(4年ぶり7回目) 準優勝 ヤマガタヤ
三位 サンコーとなりました。

最優秀選手賞に山西の杉山力斗選手が、優秀選手賞にヤマガタヤの徳永晃平選手がそれぞれ選ばれました。

決勝戦	一	二	三	四	五	六	七	計
山西	3	0	3	6	4	0	0	16
ヤマガタヤ	1	0	0	1	1	3	2	8



お知らせ

西部臨海地帯企業連絡協議会からのお知らせ

5月13日(火)に飛鳥村よりプール券が贈呈されました。

また、西部臨海地帯企業連絡協議会・西部臨海工業地帯防犯協会の総会が5月19日(月)に名古屋港木材会館にて開催されました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

ニセ警察詐欺に注意

警察官を騙り、捜査などの名目で犯人が指定する送金方法で金銭を騙し取る特殊詐欺被害が多発しています。

被害者は20～50歳代も多く、若い世代も狙われている現状です。

警察は、SNSで連絡することはありません。捜査などの名目でお金を要求することはありません。

少しでも不審に感じたら、警察や家族に相談しましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

世界初!

100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード

CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

廃せっこうボードを100%原料に使用

製造時のカーボンニュートラル

従来製品と同じ高い耐火性能

共に積み、明日を創る。

CHIYODA VISION ZERO **チヨダサー**

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣 洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部 伸一

〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会